D.Y.F.C　北海道　余市港
「シーランチ」船釣りジギングスクール　開催レポート

開催日：2024年7月13日（土）

D.Y.F.C初となるジギングスクールを北海道で開催！
基本のシャクリをマスターして、さまざまな魚をゲット!!

船釣りスクール２連弾の最終回は、７月13日、北海道余市港・遊漁船「シーランチ」のご協力を得て開催しました。
予定していたのは、D.Y.F.C発となるジギング。メタルジグが初めてお目見てできた神代のルアーを満喫まで楽しんで、上へ上へとシャクリ上げながら魚を誘って食わすわけになります。
出船前に北海道在住のルアークラフトマン佐藤優之プロから、「メタルジグは、ボトム（底）から表層まで何をこなすができるので、いろいろな魚が狙えます。このメタルジグをあたかも泳ぎたか魚が逃げまどうように動かして食いつかせるのが、この釣りの醍醐味です」と説明されてワクワク感を上げた参加者たち。今、ヒラスが好調にあれていることも聞いて、やる気モードは最下位に乗り込みました。
ポイントに着く間に、タックルをセッティング。その際、各コーチがメタルジグの動かし方をレクチャー。「シャクリは、ロッドの振り幅、スピード、リールの巻き上げ回数と巻き上げ速度の組合せで無限になるけど、初めての人はまず基本のワンピッチワンジャーク（ひと巻き、ひとシャクリ）を覚えましょう。これでシルが左右に動いて誘えます」とは、D.Y.F.C東日本ヘッドコーチの佐々木 保プロ。
具体的には、メタルジグが底に着いたらリールのハンドルを１回転させて糸を巻いて、その後にロッドの振り幅１～1.5mくらいで誘うシャクリ。これを自分がやりやすいスピードで繰り返すだけでＯＫとのことでした。
船がポイントへ到着。さっそくジギングをスタート！　セカみにポイントは低周りで、水深は30m前後、最初のターゲットは低魚でした。
船長作成の資料を見ながら各ことをアナウンス。参加者たちが真剣にシャクリを繰り返していると、小学低高学年のロッドティップがガンガンガンと叩かれるアタリを捕らえました。
すかさずコーチが「アワセを入れて！」とアドバイス。すぐに対応するとロッドティップが海面に引き込まれてフッキングが成功。魚とのファイトが開始。序分に引き寄せ楽しんだ後、浮上してきたのは、良型のカナガシラでした。
その後、ここではマメイやガヤ（エゾメバル）などが釣れて、ポイント移動となりました。
この日は、低周りを中心に攻めて、２時間強に参加者全員良好打を達成。３度目のヒラメポイントでは、底を中心に攻めて（底から５mまでを月当に誘う）真尾魚くゲットするなど実にさまざまな魚が釣れて、参加者たちはジギングのポテンシャルの高さを実感しました。
真的後半では、シャクリのパターンを変えてフォールで食わすこともハイピッチジャークで追わせて食わすなど覚えた参加者もいてジギングを満喫。参加者全員が笑顔で船を降りることができました!!

マダコやブリなどのルアーキャスティング＆ジギングゲームからエサ釣りのシメ、ヒラメまで！　今回は、北海道余市港の大人気遊船「シーランチ」を貸し切ってスクールを開催。
「シーランチ」は、少し離に沖ノットオーバーの高速船に船を乗り換えて機動力をアップ、釣果をグングンとばしています。セカみに興台となる余市港は、ヒラメが好調にあれているのこと、市場にもヒラメが数多く水揚げされていました。

参加してくれた北海道のみなさんは、集合時間前に集そろい、受付開始の合図と共に列を成してくれました。おかげさまでスムーズに受付が終了。出船時間を早め、長く船に乗ってもらえるようにすることができました。ありがとうございました。
スクールの始まりは、安全確保から。受付を終えた人から順にD.Y.F.Cオリジナルのライフジャケットを身に着けていただきます。

ライフジャケットを身に付けたら、プロたちと写真を撮って参加の記念を残します。いつもなら、みんなが集合するまでの間にライフジャケットの必要性や安全性、イザという時の使用法などを学ぶミニスクールを開催していますが、今回は開催式前に全員でそれを学習しました。

開催式のスタート！　プロたち代表してD.Y.F.C東日本ヘッドコーチの佐々木 保プロがご挨拶。「今日は、ひとつでも多いので、何かを覚えて帰って下さい」とお願いがありました。続いて佐藤優之プロがシーランチの説明とポイントやカコンを後藤。メタルジグは今までも色のルアーよりも多くの釣果ができ、活発化のポイントにこそ最初に基本となるワンピッチワンジャークを覚えて（本文参照）、慣れてきたらシャクリのバリエーションを増やして行くことなどを学びました。

待ちに待った船船です！　事故が無いようコーチ陣が先に乗船し、参加者たちはクーラーなどの荷物を先に乗せて身体ひとつで移動してもらいました。そして、いよいよ出船です。「行ってきまーす！」と保護者へ元気に手を振ります。船は沖のポイントへと向かいました。

ポイントまでは、ちょっとしたクルージング。この日も天道は上がりましたが、風を切って海上を進む船とは涼しく、快適にポイント周辺に到着。船長が各ポ魚の反応を探す間にコーチとセッティングを開始。コーチは、攻める水深に対してのルアーの重さやラインとの結び方、ジギングの基本となるワンピッチワンジャークのやり方などをわかりやすく解説していました。

船長のアナウンスで実的開始！　ポイントは低周り、水深は30m前後でターゲットは低魚全般とのこと。メタルジグを選まで落としたら、水深の半分まで誘いよけて探って下さいという指示通りに参加者たちは魚を探りはじました。なお、底周りが難好な人にはコーチが付いてマンツーマン指導。その後、しばらくするとヒットの声。最初にとがって来たのは、カナガシラでした!!

この日は、ポイント移動する度に２～３人の参加者のロッドが曲がる展開で、釣り開始から２時間で全員良打を達成しました。３度目のポイント移動では現在好調にあれているヒラメのポイントへ入り、真尾魚く良型をゲット！底付近を丁寧に探って、見事ヒットにつなげました!!

スクール中盤になると参加者たちもジギングに慣れ、コンスタントに魚を掛けられるようになりました。この日挟くれたのは、マメイと北海道を代表するポピュラー魚・ガヤ（エゾメバル）、ソウハチガレイも顔を出しました!!

スクールの後半は、メタルジグを落とし込んで食わすテクを覚えたり、ジャカジャカ巻き（ハイピッチジャーク）を試したりするなど、いろいろな技をコーチから習ってジギングを楽しみました。そして最後に、「ヒラメを狙いたい」とのリクエストがあり、再びヒラメのポイントへ。ここでも、終平盛期に差れに成功！みんな笑顔で帰港しました。

テレビ雑誌でおなじみのテスター陣を始め、釣りのエキスパートたちが子供たちを指導サポートしています！